

は～とふる 日光



ワークライフバランスの先駆者に学ぼう
～家族を幸せにする仕事術～
工藤 敬子さん



は～とふるキラリ☆ 輝く女性
大河ドラマ直虎に出演(手元吹き替え)
涼 風花さん

涼風花さんの名前は、地元日光をイメージしてつけられました。



→ 夏でも涼しい日光

→ 日光の山から
雪が舞い降りる様子



パパ、がんばっているね!
～地域で活躍する「イクメン」～
小池 浩さん



ワークライフバランスの先駆者に学ぼう

日光市では様々な「女性の活躍」応援プロジェクトを実施しています。9月22日に行われたワークライフバランスセミナーでは、この分野でご活躍されている^{くどうはいこ}工藤敬子さんに「家族を幸せにする仕事術」と題して女性の生き方・働き方について講演していただきました。



講演の主な内容

日本は今、世界中でもトップクラスの高齢化率となり 20 年以上が経過しています。しかし現状は、高い教育を受けているにもかかわらず女性が活躍しにくい環境にあります。働き方や業務の見直し、管理職の意識改革ばかりでなく、プライベートな時間に自己研鑽し、それを仕事にも活かすことで仕事にも私生活にも相乗効果が生まれます。

正社員で働き続けた場合とそうでない場合の生涯収入差は最大 2 億円！人生 100 年の時代、自分らしい人生を自分でデザインしていきましょう。

講師 工藤 敬子さんにお聞きしました。

Q

「ワークライフバランス」に取り組むきっかけは？

A

2011 年に、株式会社ワーク・ライフバランス代表の^{こむろよしえ}小室淑恵さんの講演で司会をしました。その講演を聞いたとき、「これからの時代はワーク・ライフ・バランスだ！」と直感したのです。

特に「プライベートでインプットを増やし仕事に還元する」「ワーク・ライフ・バランスは福利厚生ではなく、経営戦略である」という考え方が斬新で、すぐにワーク・ライフ・バランスコンサルタントの養成講座に申し込み、コンサルタントとしての道を歩き始めました。

小室さんとは、たまたま出身高校、大学が一緒ということもあり、親近感が湧きました。

Q

時間についてのお考えは？

A

ワーク・ライフ・バランスについて考えるということは、残業を減らすとか、効率よく働くということも大切ですが、突き詰めれば自分の人生をどう生きるかを考えるということです。自分に与えられた時間をどう過ごすか、何に使うかということは、人生をどう生きるかということと同じです。

だからこそ、私自身、時間を大切に使う、意味のあることに使うということを意識しながら日々を生きています。

今は、社会がどのような時代に向かっているのか、そのためにはどのようなサービスが必要なのか、それを模索するために都内へ出向いて研修を受けたり、本を読むという時間を大切にしています。



ワーク・ライフ・バランスの現状は？



ワーク・ライフ・バランスに取り組んで好循環を生み出している企業と、取り組まなかったことで人が採用できずに、ますます職場の環境が劣悪化している企業と2極化していると感じています。労働人口が減少してしまった今の時代において、様々な事情を抱えている人たち（女性、育児中の人、介護をしている人、高齢者、障がい者など）をどう取り込んでいくか、誰もが活躍できる組織となるためにどのような取組が必要なのかを考えることが、今後企業が生き残れるかどうかのカギになると思います。特別な事情を抱えた人たちへのサポートは少しずつ増えてきていますが、働き盛りの男性においては未だ、子育てや介護、または地域活動などには関与されない現状です。



ワーク・ライフ・バランスを進めるのに大切なことは？



ワーク・ライフ・バランスの取組は、下から上への働きかけではうまくいきません。まずは組織のトップの意識が変わることが大切です。

そしてワーク・ライフ・バランスの実現には「場づくり」「プロセスの見直し」「制度整備」「個人スキルアップ」4つの柱が必要です。

今の企業の多くは「制度整備」に力を入れています。制度整備とともに、それを気兼ねなく利用できる風土づくりも必須です。今バリバリ働いている方も、いつかは子育て、介護をする場面が生まれてくる…、そうした認識も共通項として持ち、全員が定時に帰ることを習慣づける取り組みが大切だと思います。

さらに、「場づくり」「プロセスの見直し」にも力を入れ、根本的な働き方改革を進めて頂きたいと思います。



人生100年時代、人生後半世代へもエールを！



これからは誰もが100年の人生を歩む時代を迎えます。年を重ねた皆さんには、蓄積された素晴らしい「経験」や「知恵」があります。「年だから…」を言い訳にするのは簡単ですが、新たな気持ちで何にでもチャレンジするというその姿は、これからの若い世代の素晴らしいロールモデルとなります。また働くママやパパのために「イクジイ」「イクバア」として活躍していただくことも、立派な社会貢献です。皆さんの活躍を期待しています！





はーとふるキラリ☆ 輝く女性

書道師範 日光観光大使

涼 風花さんにお聞きしました

質問 書道を始めたきっかけを教えてください。

小学校 2 年生の時、「近所に習字教室ができたから通ってみたら」と祖母から提案されたことがきっかけで始めました。最初は、お小遣いをもらえるので通っていましたが、階級が上がっていくことが嬉しく、先生にも憧れて続けることができました。

質問 日光観光大使として、日光の魅力の伝え方はありますか。

他県の方々には、栃木県というより世界遺産の日光といった方が伝わります。日光市という名前から伝えていった方が日光野菜とか日光という名前をブランディングしていった価値を高めていきたいなと思います。日光は有名なところばかりなので、そのブランド力を活かして栃木県にも貢献できるのかなと思います。

質問 女性活躍についてどのようにお考えですか。

女性が活躍しているところを見ると、勇気をもらえますし、憧れます。女性だからこその苦労も、良いこともあると思いますし、それを活かして活躍の場を増やして、さらに私たちに希望を与えてほしいです。

質問 一番好きな漢字を教えてください。

未来の『未』が好きです。未の一画目を抜くと木という漢字になり、一画目は木の枝先が完全に伸びきっていない事を表しています。なので『未だ』など未来の事を表した漢字になったのですが、私もまだまだ伸びきっていない木の枝のように、これからも成長していきたいと思っています。

質問 今後の夢を教えてください。

昨年、大河ドラマに関わるという夢を叶えることができました。手元の吹き替えをさせていただいて、右手が出演しています。次は、題字を書いていきたいのと、本当に実力のある書道家としてやっていきたいと思っています。



栃木県男女共同参画地域推進員日光市連絡会が 男女生き生き地域活動優秀賞を受賞されました。

「栃木県男女共同参画地域推進員日光市連絡会」は、地域において男女共同参画の実現に向け積極的に活動を展開し男女が共にいきいきと輝く地域づくりに貢献したとして、栃木県県民生活部長から表彰されました。



栃木県男女共同参画地域推進員日光市連絡会の皆さま
平成 29 年 10 月 28 日(土) とちぎ男女共同参画センター（パルティ）ホールにて

当連絡会は、栃木県や日光市主催のセミナーなどで、ハラスメントやDVをテーマとした自作の朗読劇を実施し、男女共同参画推進に貢献したことが評価されました。

今後も男女共同参画の地域の担い手としてのご活躍をお願いします。

栃木県内
自治体初!!

日光市女性の活躍推進ガイドブックを作成しました。

事業所等における女性の活躍を推進するため、日光市女性の活躍推進ガイドブックを新たに作成しました。

当ガイドブックでは、女性活躍に関する現状把握・課題分析ができるチェックシートや、女性活躍を推進するための具体的な取組事例を掲載しております。

また、ワークライフバランスや女性の人材育成などの各分野でご活躍されている方々に、女性リーダーになるための心構えやワークライフバランスの取組方法などをご寄稿いただくことができ、より充実した内容になりました。

働く人が減少し、多様化する社会で、事業所が持続的に成長するためには、女性の活躍を推進していくことが重要になります。ぜひ、当ガイドブックをご覧ください、女性の活躍の取組にご活用ください。

詳しくは、下記ホームページをご覧ください。

<https://www.city.nikko.lg.jp/jinkendanjo/jyoseinokatuyakusuisinn.htm>



各行政センター、支所・出張所等でも配布しています。



日光市女性相談ほっとライン

一人で悩まず、お気軽にお電話ください。
家庭や健康のこと、仕事のこと、人間関係のことなどいろいろな相談に応じます。

TEL 0288-30-4140 電話相談受付
時間 平日8:30～17:15 (休日・祝日・年末年始休業日を除く)



日光仮面も「女性に対する暴力をなくすための運動」に参加しています。

パープルリボンも、女性に対する暴力をなくすためのシンボルリボンです。

【問合せ先】

日光市 健康福祉部 人権・男女共同参画課

電話 0288-21-5148 FAX 0288-21-5105 E-mail jinken-danjo@city.nikko.lg.jp

パパ、がんばっているね！

地域で活躍する「イクメン」

こいけ ひろし
小池 浩さん

長畑幼稚園PTA会長として幼稚園行事へ積極的に参加されている小池浩さん。幼稚園の運動会でも毎年、仮装をして対抗リレーへ参加し、常に周囲を楽しませてくれるサービス精神の裏には、どんな思いがあるか伺ってきました。



Q PTA 活動の様子を教えてください。

PTA 役員は、次女が入园してから、今年で5年目になります。

役員をしてよいことは、子どものバックアップができることと、身近に子どもを見られることです。

Q 小池さんの夢を教えてください。

父から受け継いで自動車の整備・販売・保険業務を行っており、娘が跡を継いでくれたら良いなと思っています。今はそう言ってくれています。

徐々に、女性の整備士が増えてきています。車屋さんで若い女性の方がお客さんと接することができるので、女性の整備士が育てられるといいですね。



Q 地域活動へ今一歩踏み出そうとしているお父さんへ一言アドバイスをお願いします。

平日は、ほとんど子どもと接点がないので、休みの日は子どもと一緒に過ごします。先日も子どもと私、子どもの友達とその親御さん共々、駅伝大会へ参加しました。

親も子どもも一緒に楽しめる。地域や子どもに関わりながら自分自身も楽しむ気持ちが必要だと思います。

イクメンとは・・・

地域でいきいきと活躍する男性のことです。

子育てに積極的な男性を「イクメン」と呼びますが、イクメンの男性がさらに地域活動に参加することで、地域の方などと、様々な交流が生まれます。

皆さんの身近にいる「イクメン」を紹介させていただきます。



編集
後記

今回の取材は、今話題になっている「ワークライフバランスのセミナー講師」、「キラリ輝く女性書道家」、「地域で活躍するお父さん」と様々な分野で活躍されている方々に伺いました。意識改革の大切さや、大きな夢を抱いていることなど、多くのことを学び、刺激を受けました。お忙しい中、取材にご協力いただき、ありがとうございました。来年度も「はーとふる日光」は頑張りますので楽しみにして下さい。

【取材・編集】

松本 祐子 (栗山)
大野ひとみ (今市)

小松 三夫 (日光)
八木澤義彦 (藤原)

金子 由佳 (今市)
桑原 弘子 (足尾)